

## ◆感想記述内容

今日は時間がなく（約束があるため）ゆっくり見せていただけませんでした。明日はこれからもずっと続くことはないのだということを犯罪被害でよく感じます。大事に生きていたいと思いますし、突然誰かによってこれからも続くはずの未来が断ち切られることのない（戦争も当然ない）世の中にしたいと思っています。（60歳代 女性）

難しい問題でありコメントは難しいが、やはり加害者の人権が守られるのはどうかと思う。（50歳代 男性）

事故や殺人、ひどいなと思った。身近な人が、急に犯罪に巻き込まれるのは悲しいです。（20歳代 女性）

許せない。愛する人がいなくなるということ、受け入れるまでに私ならつぶれてしまうかもしれない。二度と帰ってこない。許せない。生きていることも、息をして体温を感じれることも許せない。（40歳代 女性）

以前から一度参加したいと思っていたのでよい機会でした。犯罪被害者や被害者家族等への支援が、物理的、経済的にも必要であるし、精神的な支援、そして関心をもつことが大切なのだと思う。同時に、加害者、加害者家族のこともそうなのですが。なにが犯罪が起きた時に裁いて終わり、自分には関係ないとするのではなく、一人一人が自分達の住む社会の問題として向きあい考えることが必要だと思いました。（40歳代 男性）

子を持つ親として、被害者への司法の弱さに強い憤りを感じる。自分の子がもし犯罪に巻き込まれ命を落とす事になれば、自分の手で犯罪者に同じ目に合わせてやりたいと、その具体的な行動まで真剣に考えてしまうにちがいない。（30歳代 男性）

以前から見てみたいと思っていて今回参加できて改めて悲しすぎる事が多く、色々な事を考えてます。私自身、我子達も加害者にも被害者にもならない様、話をして考えていこうと思います。今日出会った被害者の方達の事をずっと忘れずに生きて行こうと思います。（40歳代 女性）

何度かテレビや広告などでこのパネル展の事を知っていましたが、近くでなかったので行けませんでした。今回イベントがあるとわかり子どもを誘って一緒に来ました。14才という歳で命がある事に感謝し、1日1日を大切に、家族、友達がいるあたり前の事をあたり前じゃない一瞬でなくなってしまう恐怖や自分自身を考える、言葉じゃなく本当にあった事を目の前にして命というものを考える、いい経験になったと思います。こういうイベントには中学、高校、学校などで行えたらいいと思います。（40歳代 女性）

自分より先に若い方が亡くなることに憤りを感じました。僕自身が何もできない仕事もしていない状況で将来がある方々が先に亡くなるということに非常に悲しみを覚えました。とても関心が芽生えました。（20歳代 男性）

字が小さすぎて見えない、読めない。大きな字で書いて下さい！（50歳代 男性）

子ども達が安全に生活できる国になるよう、強化してほしい。子どもに対しての法律がゆるすぎる。アメリカやカナダでは子どもの安全第1に、いじめに対しても見逃さないシステムがあります。加害者側は法律で厳しく罰せられると幼いころから学校で教えてほしい。（40歳代 女性）

同じ親として子どもが先に旅立つことは非常につらいことです。また、事故以外でもいじめもすごいむごく、ひどい自己中人（？）ばかりです。（40歳代 男性）

現在自分自身が人権に対して勉強しているところです。今日のパネル展では事故を含む犯罪がクローズアップされていましたが、そこには必ず加害者が存在する。このパネル展は被害者の無念さだけでなく、加害者の理不尽、警察の理不尽、ひいては事故に直接的に関係はないものの、その周辺の理不尽が浮き彫りになったものと思います。自分も子を持つ親として、いつそういった事件に遭遇するか判らない時代、またドライバーとしていつそういった事故を起こすかわからない時代であるという事を再認識し、今後の人生に活かせればと思います。（40歳代 男性）

悲しい事件があった時いつも思う。加害者を救う制度や配慮はあるが被害者はいつも置きざりにされたまま。同じ事件はひたすら繰り返され決して止まる事がない。もう一方で思う事もある。自分もいつ加害者、被害者になるかわからないという事。（40歳代 男性）

もし、自分の身内が被害にあっていたらと思うと心が痛みます。（50歳代 男性）

被害者や被害者家族が長く苦しみ続けていることをもっと世間は知るべきだと思う。事故、事件は時とともに風化しつつあり、同じような過ちが繰り返されているように思える。もっと個人個人が自分のことのように考え、悪しき行動は戒めるべきであると思う。皆が少しでもやさしさや気づかいがあればこのような悲惨な事は減るのではないのでしょうか。(60歳代 男性)

子育て中でイライラしたりする事も多いが、改めていのちの大切さを痛感した。履かれていた靴を見るといたたまれなかった。(40歳代 女性)

今回の「生命のメッセージ展」を通じて、犯罪被害者の支援というものを知りました。知ることからはじまって、これから何かできないか考えて、行動したいです。(40歳代 男性)

ぼくはこのパネルでんきて命はたった一つしかないのに、人にたった一つの命をうばわれた人もいれば、びょうきとたたかって、さいごのさいごに命をなくしてしまった人もいる。世の中いろいろな人が死んでいる。その死んだ人を追うように死んでいく人もいれば、とつぜん命を失う人もいる。その人たちをうけついで、せいいっぱい生きていなければいけないことをパネルでんに初めて参加して知りました。(10歳代 男性)

未来に向かってけんめいに生きようとしている人がなぜそんな無残な理由で亡くならなければいけないのだろうか。理解できません！！  
集団リンチなんて、自分のストレスを他人に当てて発散しているだけだろう？そんなストレスの発散方法しかできないなんて子どもだ。と思った。もう子どもとしていいとしてんのに、もっと考え方あるだろ？小さいときはみんな「正義のヒーローになる！」とか言ってたのに、その気持ちはどこに行ったんだよ！と思った。(10歳代 女性)

犯罪被害者のご遺族の方々は2度と心から笑うことがお出来にならない人生を送られると思うのです。なのに、心ない言葉をかける人たちがいる。その方たちに巡回展示を見ていただきたい。私自身ももっと怒っていかなあかんと思いました。あつてはならない事で天国に放りこまれた方々のご冥福を…。(50歳代)

すごく小さな3才くらいの子でも交通事故にあっていてとても心がいたくなりました。私も自転車に乗っているときなどは気をつけていきたいです。(10歳代 女性)

多くの将来ある子どもたちがたくさん命を奪われており、改めて交通事故の恐ろしさを知った。自分も気をつけるとともに、子どもにも命の大切さをきちんと教えていきたいと思う。(30歳代 女性)

犯罪者がきっちりと裁かれる世の中になりますように。被害者ではなく加害者が守られるというような間違っただけの事がおこりませんように。(40歳代 女性)

以前のイベントと勘違いをして、知らずに会場に入りました。小さい子どもを連れてだったのでじっくり見ることはできませんでしたが、靴を見ただけで胸がいっぱいになってしまいました。工作をさせて頂き、スタッフの方も親切にして頂きありがとうございました。日常の中で振り返るよい機会となりました。(40歳代 女性)

私達と同じねんれいの方が亡くなられてしまっていたことに心がいたくなりました。交通事故にあわないように気をつけようと思いました。(10歳代 女性)

ニュースや新聞で目にした事故もあり、見入ってしまいましたが、その後の遺族の気持ちなど、報道されていない部分を知り、一つの事故が沢山の人の人生を変えていくことを改めて知れました。車を運転する立場として、もう一度初心に戻ろうと思いました。(40歳代 女性)

色々な犯罪で亡くなられた方の遺族の心に心打たれました。私自身幼少の頃父を亡くしているので身につまされました。(40歳代 男性)

定期的に展を開き、更に多くの方に命の大切さを知ってもらうことを願います。(40歳代 男性)

悲しくて2つぐらいしか見れなかった。毎日どこかで亡くなられている方、事故に合われた方、その家族の気持ち改めて考えさせられました。(30歳代 女性)

あって当たり前と思いがちの命だけれど、一つ一つ本当に尊くかけがえのないものだとして認識しなければならない。今日受けとった「生命のメッセージ」を受けとめ、今身の周りにある大切な命を守っていききたい。(20歳代 女性)

また機会があれば、イオンのような大きなところでやってくれたらみなさんが見ると思いました。(30歳代 女性)

私自身、加害者と関わる仕事をしています。加害者側は本当に反省している人、中には反省していない人、多くの人たちがいます。被害者側にとってはとても苦しく、悔しく、どうしようもない現実だと思います。被害者支援はもっと幅広く情報を伝え、一人にしないこと、孤独にしないことが大事だと思う。(20歳代 男性)

すごく怒りが込み上げてきた。してはいけないかもしれないが「目には目を、歯には歯を・・・」と被害者のあわれた苦しみをそのまま加害者に受けさせないと気が済まない。自分には子どもや夫がいるが、その家族が被害にあった場合、相手にも同じ痛みを与えることしか考えられない。そんな自分たちには到底、被害者家族に対して何かをすることができない。それ以外の方法でその人たちを救う方法はあるのだろうか。(40歳代 女性)

- ・中学生の息子・娘をもつ母親
- ・仕事で車を利用する夫をもつ妻
- ・自分でハンドルをにぎり運転するいち個人

どの立場にいても起こりえるシチュエーションで身内を失った方の生の言葉を拝見でき、本当に色々考えることがありました。とにかく、日常をなにもなく過ごせる事のありがたみを忘れずに生きていきます。また、身近に悲しい経験をされた方に手を差し伸べようと思います。(40歳代 女性)

命の大切さがよくわかった。(50歳代 男性)

年齢、性別、それぞれ異なっているが、皆一様にこれからの未来があった、あるべき人達。無念で仕方がなかったと思う。私も小さな子がいる親として、同じ立場になったとき、生きる気力がなくなると思う。途方もなく永い時間が必要かもしれないが、そのような人達が再び生きる気力が少しでも湧いてくるような様々な支援が必要。どうかよろしくお願いします。(30歳代 男性)

イオンモールの中は夏休みの家族連れでにぎわい、楽しさいっぱい。でもホールの中は静かで、静かすぎて…。パネルの中の人達はもう社会から切り離されたかのよう。もっと知らせてほしい。この人達のことを。誰もが被害にあうかもしれないことを。もっともっと”表”に出してあげてほしい。(60歳代 女性)

胸が苦しくなりました。(40歳代 女性)

ガイドヘルパー中を通りかかり利用者さんと見せてもらいました。利用者さん、若い頃に交通事故にあい障害者となられた方です。色々と考えさせられる事がありました。もっと色々、書きたいのですが、ガイド中なので、このへんで…。(40歳代 女性)

警察官の人手不足を無くす。一方で警察官(司法)とは別の機関(団体)が必要。→身内の場合、隠蔽等起こる可能性があるのでは。

もっとこの様なことをやっているという周知活動をして欲しい。他人事ではないと思った。命の大切さをもっともっと教える機会が必要。(40歳代 男性)

毎日のように流れているニュースで、何も考えずに、「あー、また殺人か、あおり運転か」って思っていました。殺害された被害者、残された家族の悲しさ、何にも表すことのできない感情は永遠に続いていると分かった。自分の家族が同じ目にあつたら考えると、いてもたってもいられない。全員(被害者家族)の思いが報われますように。そして、たとえ故意であっても、故意じゃなかったとしても、未成年だったとしても、罪を軽くしてはいけません。自分が加害者側になっても、同じことを思うだろうと考えます。(20歳代 女性)

こんなに悪くない人が亡くなったりするので安全になってほしい。(20歳代 男性)

教員を目指して勉強をしているのですが、このような犯罪をおこさない人、命を大切にできる人になれるよう子どもたちを教育している教員になろうと、また新しい一つの目標ができました。(10歳代 男性)